



社訓\*誠意 ～ 社長室だより ～



2020年5月末号

皆さんはコロナウイルス緊急事態宣言が発令されて色々な事を経験させられたでしょう。

今日現在、わが社からご家族含め一人の感染者も出さず業務に支障なく営むことができたことに感謝いたします。

運送業は荷主の状況により左右され、この緊急事態の行動制限の中で運行停止を通達され自宅待機をせざるを得ない方もいらっしゃるし、スポットの配送、定期的つなぎ仕事が無くなり経営的にも苦しい状況は今も変わりなく 現在、この状況下の中、人員整理することなく6月以降の便の再編成を目指し営業活動をしていく所存であります。

又、前途は容易ではありませんが2019年度の決算も黒字で締められ会計事務所から「今年もよく頑張りました。」との通信簿を頂きました。残念なのは事故があまりにも多くて今年の任意保険料が年間150万円も上がってしまいました。事故だけは本当に皆さんの気持ち＝確認＝注意力で0にできる事です。

どうか毎日ハンドルを握る前に深呼吸して自分の心を整えてください。

会社関係の話はこれ位にして、「エンジョイホーム」できていますか？

病気は治り際が肝心と言うように「コロナ」も行動制限が一部解除と言われるやいなや「マスク」を外す大勢の人間を見て不安で仕方ないです。せっかく習慣つけられた公衆衛生マナーは継続し健康である事、仕事ができる事の喜びと感謝の気持ちを忘れずに生活しましょう。

自己主張はある意味大切で、言うべきことは言ってよいと思うけど、相手の立場や状況、意見も聞く耳を持ち、受け入れる事ができたら物事わりとイライラせずスムーズにいくものです。又、とにかく「やってみる」取り返しのつかない後悔は行動を起こさなかった方が大きい。常になりたい自分を(目標)目指して行動を起こすことを皆さんにも是非お勧めします。そう考えると毎日元気でいられる。つまりいてもトラブルがあっても「負けるもんか!」「何か策はある」と考えるようになる。父が昔、幹部従業員に「金が無くて何もできないなら考えろ!考えるのに金は要らない。」「入金がないなら出る金を抑えろ」「やってみて上手くいかないならやり方を変えればいい」と。

93才7ヵ月。未だに毎日自分が創業した会社に行きたがり長年お取引有るお客さんに笑いながら頭を下げ挨拶するのが辞められずに出社し、「最後の帝国陸軍志願兵ですよ!終戦は江田島で迎え、広島原爆投下の炎を見ました!」と話す父。未だに耳に焼き付く訓示である。「エンジョイホーム」期間中は公言通り断捨離を進め、掃除しまくったおかげで手がボロボロに荒れて、指も「ばね指」になり医者に行く羽目になったが、リモート会議やzoomに挑戦して新たな活動方法の実践もでき、良い経験をしたと考えるようにしている。そして今年もあと半年。失われた仕事も有るが巻き返しと新たなフィールドでフル回転したいともくろんでいる。コロナでころばないよ!!コロッと好転して着地成功!只今の加川一江さんの演技は99点。自己ベストが出ました!(100点満点で無い、まだ更に伸びしろが有るところがいいでしょう!)

何が有っても守るべき人がたくさんいるって、人間を強くするものですよ。

そしてこんな猪突猛進の私の家族は時に呆れ顔しながらも優しく陰ひなたに支えてくれている。

社訓「誠意」＝国語辞典で引くと「まごころ」と出て、真心を更に引くと「誠の心・嘘のない心」と記載されている。

嘘のない、相手を思いやる気持ちで人と接し、仕事をする。これが鈴木運送の誠心。

今月は私の誕生日でしたので改めてルーツに触れてみました。



## 6月にお誕生日を迎える方



22日 本社 日通 ADEKA 便 末武政則      23日 平塚 Y T 便 瀬戸鉄男  
28日 平塚 ANDES 全農便 飯田 泰章      30日 本社 DS・Y T 便 岡本 秀夫